みんなで一緒に未来につなぐ

美しい自然と快適な暮らしを大切にするまち　みとよ

三豊市の地球温暖化対策の取組

平成18年(2006年)から令和7年(2025年)までの歩み

2006 ▶ 2025
20年の歩み

平成１８年～２４年 計画づくりと基盤整備のスタート

平成18年（2006年）1月

三豊市誕生

7町合併により三豊市が誕生

環境行政・地球温暖化対策の推進開始





平成20年（2008年）3月

環境基本計画策定 ❶

豊かな自然と共生し、環境にやさしいまちづくりを進めるための基本方針を策定



【改訂版】
・環境基本計画（平成27年3月）



平成20年（2008年）3月

エコオフィス計画策定
地球温暖化対策実行計画（事務事業編）

市の事務事業に伴う温室効果ガス削減目標を設定し、施策を推進

【改訂】
・第２次実行計画（平成２５年３月）
・第３次実行計画（平成２９年２月）
・第４次実行計画（令和３年３月）
・第５次実行計画（令和８年３月）



平成22年（2010年）4月

住宅用太陽光発電システム設置費補助制度開始 ❷

太陽光発電システムの普及促進

【補助ﾒﾆｭｰ追加】
・蓄電システム（平成２８年度）
・ＨＥＭＳ※１（平成２９年度～令和６年度）



平成２５年～令和３年 再生可能エネルギー・バイオマスの普及促進

平成25年（2013年）6月

バイオマス産業都市認定

廃棄物系バイオマス（食品残渣等）と未利用バイオマス（放置竹林等）を活用した循環型社会の創出に向けた構想を策定。農林水産省などが三豊市を「バイオマス産業都市」に認定





平成27年（2015年）3月

地球温暖化対策実行計画（区域施策編）策定 ❸

市域全体の温室効果ガス削減目標を設定し、施策を推進

【改訂】
・第２次実行計画（令和２年３月）

❶❸を統合して、**「三豊市の環境を育てる計画」**を策定



平成29年（2017年）4月

バイオマス資源化センターみとよ稼働開始

燃やせるごみを焼却せずに微生物の力でエネルギーに再資源化



燃やせるごみ
↓
バイオトンネル
↓
固形燃料利用原料
↓
固形燃料製造工場
↓
固形燃料



平成30年4月～平成31年2月（2018年～2019年）

地方公共団体カーボン・マネジメント強化事業実施

公共施設８施設を高効率設備機器に更新

（LED照明、空調設備、BEMS※２、人感センサー等）

【更新施設】
・市役所・危機管理センター
・財田庁舎
・豊中町体育館
・たくまシーマックス
・マリンウェーブ
・高瀬町総合交流ターミナル施設
・たからだの里「環の湯」
・粟島海洋記念公園





令和４年～令和７年 地域ぐるみでの脱炭素社会の実現へ

令和4年（2022年）8月

脱炭素推進室設置

「三豊市独自の脱炭素社会」の実現をめざし、脱炭素推進室を設置



令和5年（2023年）

3月

環境学習開始
小学校へ出前授業



4月

ZEH支援・地域経済活性化事業補助金開始 ❹
実質CO2排出ゼロを実現するZEH※３を普及促進
（加算補助）
蓄電池又はV2H※４



7月

啓発パンフレット全戸配布
脱炭素化に向けた意識啓発



令和6年（2024年）

3月

カーボンニュートラル（CN）推進協議会設立
脱炭素社会の実現に向けて、市と㈱吉田石油店、㈱Wave Energy、自然電力㈱、㈱中国銀行の５者が連携して設立



植林プロジェクト開始 ❺
ダイドードリンコ㈱と連携協定し、自動販売機を活用した脱炭素化の取組を開始



4月

スマートハウス等普及促進事業補助金開始
❷❹の補助制度を統合
【補助メニュー追加】
・次世代自動車（令和７年度）

6月

省エネルギー設備導入等支援事業補助金開始
中小企業者が行う省エネ診断・省エネ設備の導入等に対して支援

7月

地域ぐるみでの脱炭素経営支援体制構築モデル事業実施
環境省から採択を受けたCN推進協議会が、商工会や金融機関と連携し、中小企業の脱炭素経営推進に向けた取組を実施
（支援体制構築、認定制度創設、セミナー開催）

12月

瀬戸内渚フォーラム参画
瀬戸内海の藻場保全等をめざした取組を開始

令和7年（2025年）

3月

持続可能な植林活動に向けた連携協定 ❺
❺の連携協定に新たに㈱パブリックが加わり、持続可能な植林活動の実施に向けた連携協定を締結



海洋再生資材の実証実験開始
大建工業㈱、㈱リバネス、大成生コン㈱とともに、海藻増殖による有効な手法を検証。



5月

脱炭素経営支援体制・支援メニュー開始
中小企業に対し脱炭素経営の情報や支援ニュー等を提供

脱炭素経営事業者認定制度開始
中小企業が取り組む脱炭素経営を市が認定し、支援や広報活動を実施

8月

親子環境学習開始
親子で地球温暖化対策について学べる工作教室を実施



11月

持続可能な植林活動開始
小学校とプロジェクト賛同企業と連携して植林活動を実施



※１ HEMS：家庭のエネルギーを「見える化」し、効率的な利用を管理するシステム
※２ BEMS：ビル全体のエネルギーを「見える化」し、効率的な利用を管理するシステム
※３ ZEH：年間の一次エネルギー消費量を実質ゼロにする住宅
※４ V2H：電気自動車（EV）の電気を家庭で使用できるようにするシステム
※５ 自然共生サイト：生物多様性保全に資する取り組みが認められた民有地等の区域

その他主な取組

令和6(2024年)4月
【気候変動対策】
クーリングシェルター開放
暑さを避けて休憩が取れる施設を市が指定し開放





令和7(2025年)9月
【生物多様性の保全】
「父母ヶ浜」自然共生サイトに認定
ちちぶの会の保全活動が認められ、環境省から自然共生サイト※５に認定





三豊市 MITOYO
【お問合せ】
三豊市 市民環境部 環境衛生課 脱炭素推進室
TEL 0875-24-8445(直通)